

パンフレット

VIAVI

FiberComplete PRO

作業者の効率を改善し、オペレーションエクセレンスを達成するためのファイバー認証試験のための受入テストプロセス制御アプリケーション

FiberCompletePRO™ は、双方向ファイバー認証試験のための業界で最も速く、最もコンパクトな汎用ソリューションです。

テストのセットアップとデータ交換、結果の分析とレポートの生成など、テストおよび認証試験プロセスのほぼすべての面で必要とされる時間と労力を大幅に削減するための自動化機能が強化された最初のソリューションです。

一連のアプリケーションによって、基本的な挿入損失 (IL) や光反射損失 (ORL) から高度な双方向 OTDR 分析 (TrueBIDIR) まで、必要なすべてのファイバーテスト要件が提供され、ファイバーリンクが必要な仕様に合わせて構築されていることを証明してネットワークの信頼性を保証することができます。

統合されたデータリンクと一つのボタンを押すだけの方式の一つのテストポートソリューションにより業務効率の向上を実現し、手動の手順とプロセスを排除し、予定どおりにネットワークを構築/拡張することができます。

リアルタイムの双方向分析で現場にいる間に即時に是正措置を実施し、再訪問する必要をなくしてください。

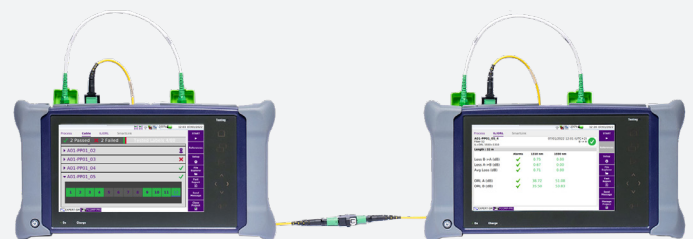
複雑さを取り除き、プロセスを簡素化することで、新しいファイバー作業者をより短時間に立ち上げ、人的エラーを抑えることができます。

特徴

- 作業の早期完了、最速の完全双方向ファイバー認証試験ソリューション、最大 80% の時間を節約
- コールバックやリピートを抑え、テストしながら是正作業を実施
- 現場外作業、後処理作業、レビュー時間を排除
- テスト複雑さ、手動プロセス、および人的エラーのリスクを排除
- 作業者やコントラクターのワークフロー効率と一貫性
- クラウドへのレポートの直接送信 (StrataSync TPA 스위트)

アプリケーション

- ネットワークの構築と保守:
 - エンタープライズ/構造化配線
 - データセンター相互接続 (DCI)/海底ネットワーク
 - アクセス FTTx
 - FTTH、パッシブ光ネットワーク (PON)
 - CATV HFC
 - ワイヤレスバックホール/CRAN/5G x-haul
 - メトロおよびコア/長距離ネットワーク

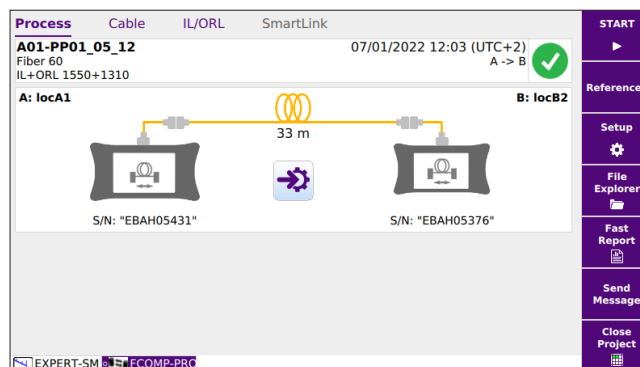


持ち運ぶツールの削減

FiberComplete は、最大 6 つの測定器を 1 つのテストモジュールに統合しています。ビジュアルフォルトロケータ (VFL) トークセット、ブロードバンドパワーメーター、デジタル解析マイクロスコープなどのMTSプラットフォーム機能と、モジュール IL、ORL、および OTDR 機能が統合されているため、作業者は多用途の一つのソリューションで、あらゆるファイバーネットワークのテストを実施できるようになります。

セットアップの簡素化

機器がテスト対象ファイバー (FUT) に接続されると、瞬時の導通試験によって本体が自動的にペアリングされ、長さ測定を実行し (特許出願中)、インテリジェントなテスト設定を案内しお知らせします。テストパラメータが不一致であると、相関性の低い OTDR テスト結果が生成され、再テストのためにサイトを再訪問しなければならないことがあります。自動データ交換により近端と遠端のテスト設定を一致させる際に間違いが起こらないようにします。



インテリジェントなテスト設定

インテリジェントなセットアップにより、新しい作業者をより短時間に立ち上げ、フィールドで大幅に短い時間で作業者の効率を高めることができます。計測器の同期と初期損失測定から得られた情報を利用することにより、FiberComplete PRO はパルス幅、取得時間などの最適な設定を選択して、最適な OTDR テスト設定と測定確度を保証します。

即時テストとガイド付き損失参照

IL および ORL 用の内蔵工場基準を使用して、そのまますぐに損失テストを実施することも、オンボードの参照「ウィザード」による IL、ORL の参照プロセス (ループバックとサイドバイサイドの両方) の案内に従うことで、テスト結果で最高の測定確度を得ることもできます。

確実なテスト

あらゆる OTDR テストでポートの健全性チェックを行うことにより、良好なランチ条件が保証され、高い測定確度を得ることができます。ライブトラフィックの常時検出により、伝送装置の損傷や測定結果の低下を防ぐことができます。



リアルタイムの双方向 OTDR 分析 – TrueBIDIR (特許取得済み)

TrueBIDIR は、測定精度、イベント検出、位置確度を向上します。ゲイナーに対処し、現場にいる間に即座に是正措置を講じられるため、現場への再訪問を減らすことができます。FiberComplete PRO は、テストシーケンスごとに FUT データリンクを利用して双方向で得られた OTDR の結果のリアルタイム双方向分析を実行し、検出されたすべてのイベントの損失測定値を平均して、「真」のイベント損失を提供します。

革新的なテストシーケンスによる最適なワークフローの実現

一つのテストポートアプローチにより、IL、ORL、OTDR、および双方向 OTDR の複数の測定値をシーケンス処理することで、タスクの並列実行を可能にしながら、最適なワークフローとより高いレベルの効率を実現することができます。FUT (特許出願中) を使用した高速データ交換機能が組み込まれているということは、他のデータリンクや通信リンクが必要なくなることを意味します。リアルタイムの双方向OTDR分析のために計測器の設定を同期させたり、遠端ユニットからテスト結果を取得したり必要はありません。テストシーケンスの進行中に、作業者はテストする次のファイバー、ファイバーのバッチ、またはMPOを準備し、テスト、認証、およびレポート作成の時間を80%以上短縮できる、はるかに効率的で生産的なワークフローを確立できます。

ファイバー数の多いケーブルに対する拡張性

ファンアウトケーブルまたはネイティブ MPO コネクタを使用すると、1回のアクションで複数のファイバーを認証試験するためのテストシーケンスを準備できます。ファイバーケーブル管理では、一つの「ケーブル」ビューに結果が表示され、プロジェクトの進捗状況のリアルタイムの概要と各ファイバーテストの合否ステータスを把握することができます。

テストデータとレポートの管理を FiberComplete PRO に任せる

ファイル命名の仕組みはカスタマイズ可能であり、リンクの詳細な説明と指定を結果のファイル名に含めて、ファイルをより整理して保存できます。また、自動保存機能によりファイバー番号のインクリメントと結果ファイルの保存が行われるため、ファイルの命名エラーを回避することもできます。オンボードのレポート生成機能により、提出用の結果を準備するための後処理の手作業が不要になります。すべての波長とテスト (IL、ORL、OTDR) の結果が単一の完全なレポートに統合され、テストレポートの量が半分になり、ファイル管理の負担が軽減されます。

最小限の後処理

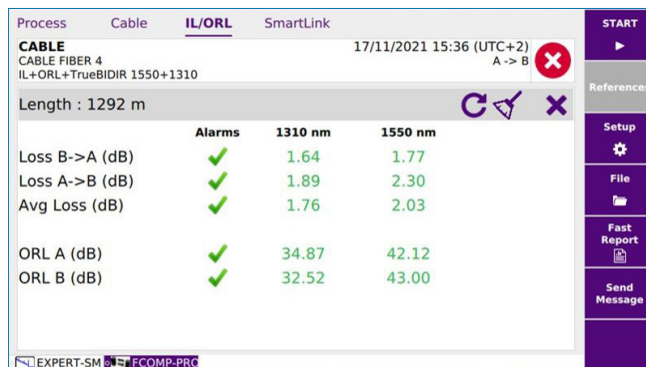
時間と労力を徹底的に節約してください。分析とレポート生成機能がオンボードであるということは、双方向の OTDR 結果分析とレポート作成を実行するためにサードパーティのソフトウェアを使用する必要がないことを意味します。計測器からクラウド (StrataSync) にテスト結果とレポートを直接アップロードしてほぼリアルタイムでダッシュボード化とプロジェクトの進捗レポートを作成することができます。

Report name: toto.pdf Report date & time : 03/12/2015 08:38		VIavi			
Job id: JOB123	Start fiber: 1				
Technician Id: Tcha.Tcha	Number of fibers: 144				
Project name: Bingo2	Label list: N/A				
	Fiber count: N/A				
Mainframe's model A: T-BERD 4000 V2 (5/N 118)	Module's model: E4126B-FCOMP (5/N 20)	Calibration date: 12/01/2020			
Manufacturer's model B: T-BERD 4000 V2 (5/N 220)	Module's model: E4126B-FCOMP (5/N 35)	Calibration date: 12/01/2020			
SUMMARY RESULTS					
Fiber #		1310 nm	1550 nm	1625 nm	
1	✓ Loss/ORL Results				
	✓ Avg Loss (dB)	1.05	1.78	1.85	
	✓ ORL A (dB)	33.73	>55	45.21	
	✓ ORL B (dB)	33.49	>55	44.51	
	✗ Bi-Directional OTDR		1310 nm	1550 nm	
	Event # 1	Avg. Loss (dB)	0.989	0.963	
	Dist. (m) -26.17	Max Refl. (dB)	-82.90	-60.82	
	Event # 2	Avg. Loss (dB)	0.306	0.534	
	Dist. (m) 0.00	Max Refl. (dB)	--	-67.16	
	Event # 3	Avg. Loss (dB)	0.340	1.321	
Dist. (m) 31.59	Max Refl. (dB)	--	-75.49		
Event # 4	Avg. Loss (dB)	0.660	0.753		
Dist. (m) 56.00	Max Refl. (dB)	-64.62	-55.05		
2	✓ Loss/ORL Results				
	✓ Avg Loss (dB)	1.05	1.78	1.85	
	✓ ORL A (dB)	33.73	>55	45.21	
	✓ ORL B (dB)	33.49	>55	44.51	
	✗ Bi-Directional OTDR		1310 nm	1550 nm	
	Event # 1	Avg. Loss (dB)	0.989	0.963	
	Dist. (m) -26.17	Max Refl. (dB)	-82.90	-60.82	
	Event # 2	Avg. Loss (dB)	0.306	0.534	
	Dist. (m) 0.00	Max Refl. (dB)	--	-67.16	
	Event # 3	Avg. Loss (dB)	0.340	1.321	
Dist. (m) 31.59	Max Refl. (dB)	--	-75.49		
Event # 4	Avg. Loss (dB)	0.660	0.753		
Dist. (m) 56.00	Max Refl. (dB)	-64.62	-55.05		

FiberComplete PRO アプリケーション

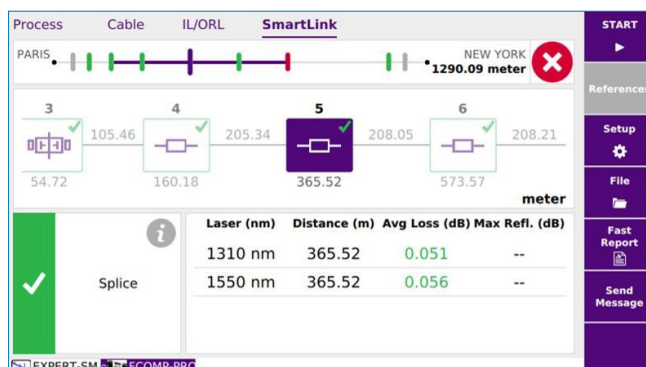
損失テスト – 障害検出機能を備えた自動双方向 IL、ORL テスト

損失テストアプリケーションは、ファイバリンクの認証試験と障害検出測定の基本セットを提供します。5つの機能が1つのアプリケーションにまとめられています。双方向挿入損失テストを実現する光損失テストセットを形成するための光源とパワーメーターが組み合わせ、ORLメーター、フォルトファインダー。ボタンを1回押すだけで、完全に自動化された双方向のテストプロセス(4.5秒)を実行し、事前定義された命名形式でテスト結果を保存し、レポートを連結・生成します。



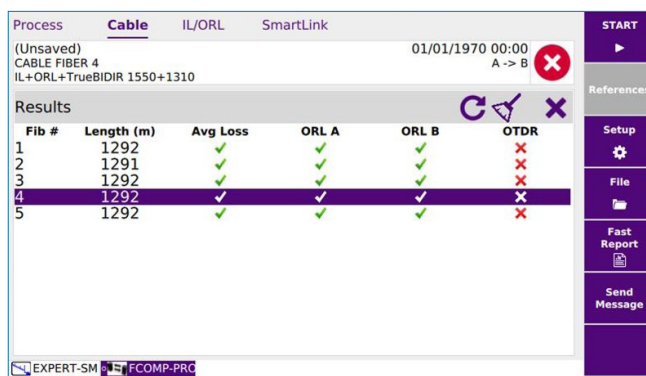
TrueBIDIR とループバック – オンボードリアルタイム双方向 OTDR 分析

TrueBIDIR アプリケーションは、リアルタイムの双方向 OTDR 結果分析を提供します。双方向OTDR分析は、ファイバリンク上のすべてのイベントに関する損失情報をまとめて、測定値の平均を計算し、より正確な「真」の損失測定値を提供します。後処理分析作業の必要性をなくし、現場にいる間に障害のあるファイバーを修正または修理するための是正措置を実施できるようになります。



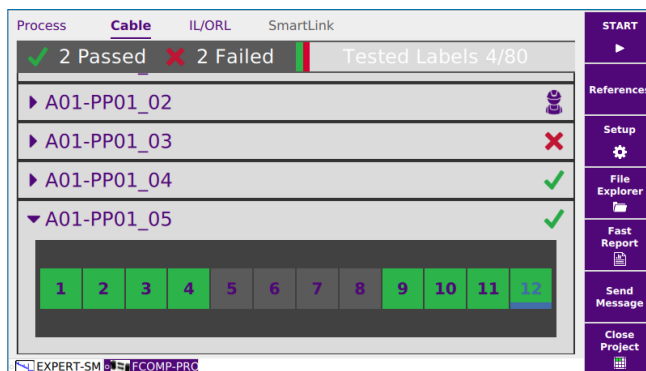
FiberComplete™ – 双方向IL、ORL および OTDR

FiberCompleteは、双方向の IL および ORL などの基本的なファイバーテストのすべてを初めて完全自動化した唯一のソリューションであり、単一のテストポートと1つのボタン押しアプリケーション(特許取得済み)を使用してOTDRテストを行うことができます。End-to-Endのリンクおよび各種リンク要素のすべてをカバーする完全なファイバー認証試験と特性評価を1分ほどで提供。



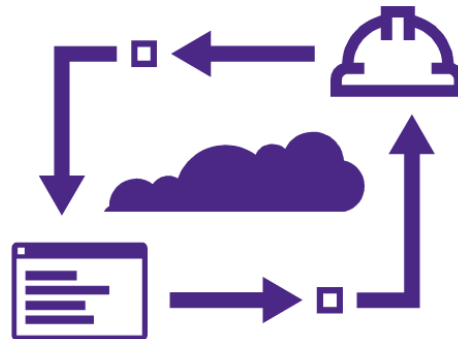
ファイバー芯数が多い – ファイバーケーブル管理による双方向テストの自動シーケンス化

多ファイバー芯数のサポートにより、すべての双方向テスト機能を拡張し、高密度ファイバーケーブルの認証試験を自動化できます。MPOスイッチまたはファンアウトケーブルを利用することにより、12本のファイバーを一つのシーケンスでテストすることができます。例えば、自動ファイバー導通試験とマッピングにより MPO の極性とタイプ(A、B、または C)を決定できます。結果は単一の「ケーブルおよびラベル」ビューに表示され、プロジェクトの進捗状況と、テストされた各ファイバーグループ/バンドルの合否ステータスの概要がリアルタイムで表示されます。



従業員、タスク、テストデータの管理

テストプロセスオートメーション (TPA) を利用することで、初めてのテストでも必ずエキスパートレベルのテスト結果を出し、プロジェクトを終了することができます。TPA はワークフローを最適化し、エラーが発生しやすい手作業をなくし、ジョブの終了、チームの進捗状況の更新、ネットワークの健全性分析に関する即時データレポートを自動作成するクローズドループテストシステムです。ジョブを効率的に実施することで、確実に高品質のネットワーク構築迅速なターンアップ/アクティベーションが可能になり、作業の可視性を高めることができます。



ファイバー作業の管理

手順ガイドと自動ジョブレポートを使用したジョブの計画と割り当て

- VIAVI Mobile Tech アプリを使用して、ジョブの詳細なテスト計画を作成、割り当てて、作業者の計測器に送信できます。
- 特定のジョブ作業指示書にテストを関連付けることができます。
- 個々のテストタスクのシーケンスを一つのジョブにまとめることができます。
- 計測器の UI には、タスクの指示、進捗状況、および結果がステップバイステップで表示されます。
- ワークフロー監査の詳細によるテキスト結果の充実 - 位置データ、タイムスタンプ、マルチメディアの添付 (写真、署名のキャプチャ) など

